

エコアクション21

令和5年度 環境経営レポート

(活動期間 令和5年9月～令和6年8月)



発行日 令和6年11月30 日

緑豊かな地球を創造する



本 社 〒870-0327 大分県大分市小佐井1丁目4番17号

TEL097-593-0680 FAX097-593-0825

目 次

1. 組織の概要	1
2. 実施体制	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標（令和4年～令和6年）	4
5. 環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容	5
6. 環境経営計画の取組状況とその評価	6
7. 環境関連法規等の遵守状況	7
8. 代表者の全体評価と見直し	8
9. 当期の主な活動内容	9

1. 組織の概要

1. 組織の概要

(1)名称及び代表者名 株式会社 池部造園
代表取締役 池部 寛

(2)所 在 地
本 社 大分県大分市小佐井1丁目4番17号
TEL 097-593-0680
Fax 097-593-0825
E-mail ikezohr1@clock.ocn.ne.jp

資材置場 大分県大分市里1350-8

(3)設 立 昭和63年8月

(4)資 本 金 2,000万円

(5)環境管理責任者及び連絡担当者（事務局）及び連絡先

環境管理責任者 代表取締役 池部 寛

環境担当者（事務局） 池部 美智子

2. 事業活動

(1)事業内容 造園工事業・土木工事業
建設業： とび土工工事業・舗装工事業

(2)事業規模 売上高 令和5年度 160,900千円 (単位：千円)
従業員数 9名 (令和6年8月31日現在)
延床面積 90.26m²

【注】従業員数=常勤役員、社員、パート全ての役職員を含む
従業員数、延床面積は、令和6年8月31日現在

(3)保有車両

事務所		倉庫			
車 輛		車 輛		重 機	
普通車	3台	3t クレーン	1台	バックホウ	2台
		2t ダンプ	1台		
		パッカー車	1台		
		軽トラック	1台		
		軽ワゴン	1台		

令和6年8月31日 現在

(4)事業年度 9月1日～翌年8月31日

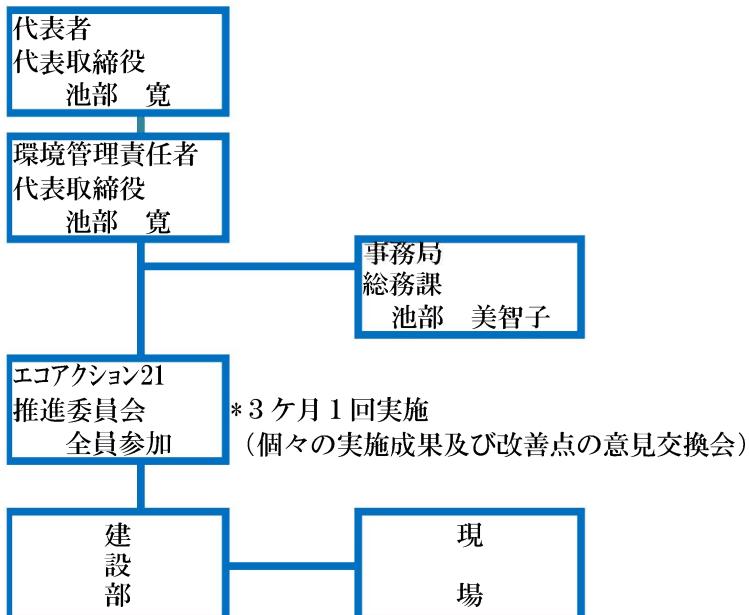
3. 対象範囲

全組織、全事業活動
(1)

2.実施体制

作成者： 池部 美智子

①EA21組織図



②EA21 役割と責任及び権限

役割・責任・権限	
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・経営における課題とチャンスを明確にする ・環境経営方針を定める ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境経営レポートの確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境経営レポートの作成
エコアクション21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営計画の立案 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・環境活動に関する意見交換
部門長 現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境活動の実施 ・自部門における環境活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

3. 環境経営方針

- ・「みどり豊かな地球を創造する」をテーマに、人と自然と地球環境との調和、共生を目指し、環境への取組に配慮した事業活動に努めます。
- ・お客様第一のニーズに寄り添い、癒しの庭作りに貢献します。
- ・常に会社の安定と繁栄、社員の安全と生活向上に努めます。
- ・環境行動指針に基づいて、全員参加による活動を進め、環境経営システムの継続的改善を図ります。

《環境行動指針》



- ・緑の大切さに关心を持ち、社会の信頼に応える行動に心がけます。
- ・地球温暖化の緩和、快適な環境づくりに貢献します。
- ・公園、屋上緑化、緑のカーテン等の環境緑化推進事業に努めます。
- ・水資源の無駄の無いように細めな節水を努めます。
- ・電気使用量の削減、ガソリン、軽油、灯油の削減の周知徹底に努めます。
- ・関係する環境関連法規を遵守します。

令和3年4月1日

株式会社 池部造園
代表取締役 池部 寛

4.環境経営目標（令和4年～令和6年）

電力の二酸化炭素は、九州電力の2021年度調整後排出係数(0.385kg-CO₂/kWh)により算出した

環境経営目標番号	選択課題	基準年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		R3年度実績値	目標値	目標値	目標値
		(単位)	(基準年度比)	(基準年度比)	(基準年度比)
1	二酸化炭素排出量の削減	26,069	25,808	25,547	25,286
		(kg-CO ₂)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
1-1	電力使用量の削減	4,479	4,975	4,925	4,875
		(kWh)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
1-2	ガソリン使用量の削減	5,280	5,227	5,174	5,121
		(ℓ)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
1-3	軽油使用量の削減	4,542	4,496	4,451	4,405
		(ℓ)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
1-4	灯油使用量の削減	141	139	138	136
		(ℓ)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
1-5	LPG使用量の削減	6.7	6.6	6.6	6.4
		(kg)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
2	水使用量の削減	72	71	70	69
		(m ³)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
3	廃棄物の再資源化率向上 (剪定木くず・産廃)	100	100	100	100
		(%)	(継続)	(継続)	(継続)
4	グリーン購入の推進	グリーン購入の 推進	継続	継続	継続
5	社会貢献への参加	積極的なボラン ティア参加	継続	継続	継続

5.環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容

作成日： 令和6年10月31日

作成者： 池部 美智子

対象期間=9月～8月

環境経営目標番号	選択課題	基準年度		R5年度(R5.9～R6.8)		
		R3年度実績値	目標値	実績値	達成率	
		9月～翌8月	基準年度比△2%			(目標値÷実績値)
1	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	9月～翌8月	26,069	25,547	23,768	107.5%
		評価と次年度の取組内容	社員一人ひとりの参加意識が高まっている。引継ぎコロナ禍での現場作業の手順、周辺への配慮を徹底させた。無駄を減らし、効率良い現場対応の効果も、目標達成につながった。継続して努力する。			
1-1	電力使用量 (kWh)	9月～翌8月	4,479	4,925	5,000	99%
		評価と次年度の取組内容	きめ細かい節電管理は徹底していたが、倉庫にエアコン設置した事により多少電気使用量が増えた。昨年LEDを完全入換したことで事務所の方は節電できたと思う。来期も全員の協力で目標達成をめざす。			
1-2	ガソリン使用量 (ℓ)	9月～翌8月	5,280	5,174	4,080	126.8%
		評価と次年度の取組内容	日常の乗車前点検、エンジンオイル交換など整備は、確実丁寧に対応し、効率配車、省エネ走行を引き続き徹底した。エコカー買替えによりかなりの省エネが達成できた。			
1-3	軽油使用量 (ℓ)	9月～翌8月	4,542	4,451	4,668	95.4%
		評価と次年度の取組内容	本年度も上期・下期共、比較的近郊現場が多く、総走行距離が短縮できた。現場に左右されるが、確実な工程管理と効率配車に努める。			
1-4	灯油使用量 (ℓ)	9月～翌8月	141	138	127	108.7%
		評価と次年度の取組内容	気温変動にも左右されるが、防寒対策の徹底により使用量を減らす事が出来た。引き続き、健康に留意しながら効率使用を進めます。			
1-5	LPG使用量 (kg)	9月～翌8月	6.7	6.6	6.3	104.6%
			事務所の消費が主体であるが、溜め湯で洗い物を徹底し、流し洗いしないように努めた。			
2	水使用量 (m ³)	9月～翌8月	72	70	78	98.6%
		評価と次年度の取組内容	現場(倉庫)の使用が主体である。雨水などの溜め水と河川からの汲み上げ水を利用して、樹木の散水などをまかっている。今年の長く続く高温の気温の為樹木の灌水の回数も増えた。自然の恵み(河川、雨水)を、来期もできるだけ活用する。			
3	(剪定木くず・産廃) 廃棄物の再資源化率向上	100%	100%	100%	100%	100%
4	社会貢献への参加	積極的なボランティアの参加	継続	継続	継続	継続
		ボランティア活動では「みどりの保護・保全・育成」に積極的に参加しています。海、河川敷、まちの清掃活動などを通じて、(植物のこと・樹木のこと・環境のこと)の子どもの質問に答えるカッティングブックを毎年見直しをしています。				

電力の二酸化炭素は、九州電力の2021年度調整後排出係数(0.385kg-CO₂/kWh)により算出した

6.環境経営計画の取組状況とその評価

評価日： 令和6年10月1日

評価者： 池部 寛

環境目標番号	環境目標課題	環境目標達成のための具体的活動	対象部門	管理責任者
1-1	電力使用量の削減	夏28℃冬20℃を基本とする。	事務所	○
		2.OA機器の退社時電源OFFにする。	事務所	○
		3.不必要箇所の照明を消す。	全体	○
		4.空調機フィルター清掃	事務所	○
1-2	ガソリン消費量削減	1.エコドライブの推進。急加速急停車をしない。	全体	○
		2.アドリングストップする。	全体	○
		3.タイヤなど乗車前の点検を丁寧に行う。	全体	○
1-3	軽油消費量削減	1.エコドライブの推進。急加速急停車をしない。	現場	○
		2.アドリングストップする。	現場	○
		3.重機などのリースは、省エネ車を選択する。	現場	○
1-4	灯油消費量削減	1.ウォームビズを心がける	全体	○
1-5	LPG消費量削減	1.お湯をボールにためて洗い物をする	事務所	○
		2.洗い物はできるだけまとめてする。	事務所	○
2	水使用量削減	1.節水シールを貼り、意識を高める。	事務所	○
		2.洗い物はまとめてする。	事務所	○
		3.貯め水洗いをする。	事務所	○
		4.雨水、河川水を利用する。	現場	○
3	廃棄物の再資源化率向上 (剪定木くず・産廃)	1.剪定木くずの再資源化(燃料)	現場	○
		2.建設廃棄物の再資源化	現場	○
		3.現場ごとに、管理を徹底する。	現場	○
4	グリーン購入の推進	1. 2品以上購入する。	事務所	○
		2.エコマーク商品を優先購入する。	事務所	○
		3.再生材料製品ができるだけ購入する。	事務所	○
	社会貢献への参加	1.所属団体や公共機関のボランティアに参加する。	全体	○
		2.各現場のごみ拾い活動	現場	○
		3.事務所周辺の美化に協力する。	事務所	○

○:実施できた

△:十分には実施できなかつた

✗:実施できなかつた

7.環境関連法規等の遵守状況

作成者： 池部 美智子
評価日： 令和6年10月1日

法令等の名称	当社に適用される要求事項	確認結果
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物委託契約書 ・マニフェスト管理、交付状況定期報告 ・収集運搬車輌へのステッカー貼付 ・廃棄物の管理、投棄禁止 ・焼却の禁止 	適 適 適 適 適
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業等を営む者の責務 ・対象建設工事の届出に係る事項の説明等 ・下請負人に対する元請業者の指導 	適 適 適
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・建設作業の事前届出 ・規制基準の遵守 	適 適
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・建設作業の事前届出 ・規制基準の遵守 	適 適
農薬取締法	<ul style="list-style-type: none"> ・使用の禁止 ・農薬使用の規制 ・水質汚濁性農薬の使用規制 	適 適 適
水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・排水基準の遵守義務 	適
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器の定期検査と法定点検の実施 	適
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・設置等の届出 ・定期検査及び定期清掃 	適 適
道路交通法	<ul style="list-style-type: none"> ・道路使用許可の事前届出 	敵

当事業所及び建設現場に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

又、関係機関及び利害関係者からの指摘も訴訟ありませんでした。
苦情はありませんでした。

8.代表者の全体評価と見直し

(1) 全体評価

- ・コロナ感染も落ち着き、環境活動も回復した1年でした。
- ・今年もボランティア活動は積極的に取組みました。
- ・今までの取組みより、さらに個人個人の参加意識が高まっていると感じます。
- ・今年も真夏の作業は過酷なものであり、作業員の体調管理には特に配慮し休憩回数を増やさないと体が維持できないことも有った。
- ・電力については、事務所は節電の徹底により、大きく削減できました。
- ・ガソリン、軽油は、工事現場の受注条件(遠近)との関連が強く、削減が思うようにいかないのが課題です。又、物価高騰によりかなり駆使しましたが、結果としては目標達成出来たと思います。
- ・灯油は着衣などの工夫により大幅削減できました。
- ・水使用量は、雨水や河川水を樹木灌水に利用し、節水を達成できました。
- ・剪定くず、建設廃棄物は、確実に再資源化しています。

(2) 次年度の取組、活動の見直しについて

- ・1年間の成果を振り返ると、みんなの小さなアイディア、行動が大きな結果を生むことができ、何気なく使っていた事、1人ひとりの気ずきをエコアクション21の活動に活かしていきたいと思います。
- ・引き続き、事務所、現場で、環境負荷削減に努め、当社が策定した目標を何としても達成していきます。
- ・建設部は、車輌のエンジンオイルの適度な交換、毎日の乗車前点検により、燃費を抑えていきます。
(車輌を大切にするとともに、無事故を継続する)
- ・日々のミーティングで参加意識をさらに高めていきます。
- ・緊急事態に備えたリスク管理は現場での朝礼で徹底させ、全員参加の訓練ができた。
- ・工事内容、工事場所により増加する、軽油、ガソリン、水の使用量などの関連性が分かるように工夫していきます。
- ・作業工程、作業の連続施工を考慮します。
- ・ゴミ問題に関してはリサイクル業者等など協力、連携して行きたいと思います。
- ・実施体制を含む環境経営システムの骨格は維持するとともに、2017年版ガイドラインに対応した必要な見直しを徹底させる。

(3)その他

- ・温暖化に伴い、樹木の重要性を業界全体でアピールしなければならないと思う。
- ・剪定の時期を強にしないと樹木の生育に係るほど温暖化が進んでいると思う。
- ・環境の悪化に樹木の痛みが激しくなっているのが現状である。
- ・熟練技術者の定年に伴い、若い人材を技術者に育成する事もこれからの課題である。
- ・講習会等開催し、多くの方に参加して頂き人材育成も大切である。
- ・仕事が取れても職人不足が問題である。
- ・公共工事に限らず民間工事も社員の一人一人の資格等が重要視されてきた。

令和6年10月22日

株式会社 池部造園

代表取締役 池部 寛

9.活動内容・・・本社の取組み



⌚こまめに電源OFF
退社・外出時再確認！



⌚こまめに電源OFF
パソコン内で内容確認の上、必要な文書のみコピー！



⌚習慣付け

⌚定期的にフィルター掃除を実施



⌚徹底したゴミの分別化



⌚不要なコピー用紙の裏面使用

9.活動写真 1・・・本社の取組み

☆きれいにしようえおおいた推進事業☆

「大分市きれいにしようえおおいた」ゴミ拾い活動登録させて頂いております。
今年も美化活動に積極的に取り組みました。



亀塚古墳周辺ゴミ拾いを積極的にとり組んでいます。かなりポイ捨てが減少しました。
引き続き取り組んでいきたいと思います。



☆ごみ分別コンテナ



☆リサイクルごみの分別化



☆雨水貯水槽



☆雨水貯水槽の様子

9.活動写真 2・・・本社の取り組み

☆エコアクション21の認証を受け5年を経過いたしました。

大分市 大分市長より感謝状を頂きました。

引き続きCO2削減に会社及び社員一同日々取り組んで行きたいと思います。



認証・登録番号 0012552

認証・登録事業者 株式会社池部造園

大分県大分市小池井1丁目4番17号

事業者名 池部工務店、土木工事部、とり・土工工事部、筑成工部室

登録事業所 本社・西郷店

認証・登録日 2018年10月30日

更新・登録日 2024年10月30日

有効期限 2026年10月29日

大分市事業者(エコアクション21)が認定(2017年版)する機関の
発行するものと認めています。

一般財団法人 持続性推進機構
理事長 森本英香

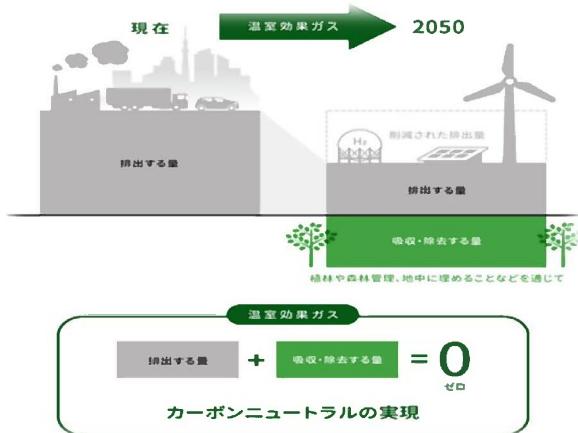
COPY COPY COPY



2 令和6年度 大分市の「感謝状」贈呈

平成27年度より、エコアクション21の認証を受け5年を経過した大分市の事業者を対象に、大分市役所様から感謝状が贈呈されています。以下に、令和6年度に感謝状を受けた事業者様をご紹介します。

- ・(株) 池部造園
- ・サンワテック(株)
- ・(株) 石川建設工業
- ・江藤産業(株)
- ・(株) 日本電工
- ・タマイM&S(株)
- ・(株) AKIYOSHI
- ・大分三義自動車販売(株)



☆2050年までに温室効果ガスの排出量が
「ゼロ」になるように出来る事は?

・電気使用量の節約

・節水

・食品ロスをなくす

・ごみの排出量を減らす

・リサイクル資源を有効に使う

・緑を育てる、緑を増やす

・自然エネルギーの活用…などごく一部ですが個人が日常の細かな消費行動を意識する事で大きく社会を変えると思います。

「継続は力なり」です!

9.活動写真 3・・・社会的貢献の取り組み

今年もボランティア活動を積極的に参加してきました。



令和6年度第54回大分県技能祭にて
“苔玉作り”を体験して頂きました♪



ボランティア活動前の説明の様子